

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立伝法幼稚園学校協議会

1 総括についての評価

今年度の総括について、目標の達成状況や、保護者アンケート・職場内アンケートの結果から、評価は妥当であるといえる。

今年度は、様々な取組内容において新たな試みを行い、教職員の大きな学びと幼稚園教育の充実につながった。地域の保育所、小中学校、専門機関との連携も密に行うことができたため、地域に根差した開かれた幼稚園づくりを行うことができた。目標設定が十分に満たされているものについては引き続き現在の高評価を維持し、中期目標に至っていないものに関しては、来年度達成できるよう、さらなる教育内容の充実と発信に努めていくことが大切である。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

○年度末の保護者アンケートにおける次の項目について、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。

- ①幼稚園は、自分の命を守るための行動が身につくように避難訓練や安全指導に取り組んでいますか。
- ②お子さまは「自分が好き」「友達が好き」という気持ちをもち、自分のことも友達のことも大切にすることが育っていますか。
- ③幼稚園では個々の幼児理解に努めたり、互いの良さを認め合う気持ちを育んだりしていますか。

各項目における最も肯定的な回答の割合は①89%、②80%、③93%となり、目標の80%以上を超え、目標を達成することができた。内容として、①避難訓練においては消防署や警察署の専門機関に来ていただき指導をしていただいたこと、②新たに地域の保育所との交流をもったことや、地域の小中学校との交流、未就園児活動の充実などを通して様々な年齢の人との関わりをもてる機会を多くもったことなどが、保護者アンケートの高評価につながったと思われる。また、③においては、登降園時における保護者とのコミュニケーションや、個人懇談、ホームページを活用しての発信が、保護者の幼稚園生活における安心感につながり高評価の結果になったと思われる。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○年度末の保護者アンケートにおける次の項目について、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。

- ①遊びを通して、「知・徳・体」をバランスよく育む保育を実践していますか。
- ②お子さまは様々な活動を通して、自分の思いや考えを表現することを楽しんでいますか。
- ③幼稚園は健康的な生活習慣が身につくような指導に努めていますか。

各項目における最も肯定的な回答の割合は①93%、②87%、③95%となり、目標の80%以上を大幅に超え、目標を達成することができた。今年度は、「身近な自然に興味や関心をもち、主体的に遊ぶ中で、好奇心や探究心を育む」という研究テーマを掲げ、園内の自然環境を見直し、保育活動において様々な自然を取り入れ、四季を感じられる保育内容を展開した。自然を糸口に、「知・徳・体」の育ちがバランスよく育まれるような保育内容の工夫を行ったことや、話し合い活動を大切に、教師がどのような幼児の姿も受け入れてきたことが、子どもの育ちや保護者の教育内容の理解につながり、①、②の高評価につながったと考えられる。また、③の保健指導においては、幼児の実態を考え、視覚的・聴覚的に分かりやすく指導したことや、指

導した内容を行事の際に映像にして保護者に見ていただいたことが、高評価の結果になった要因と思われる。

年度目標：【**学びを支える教育環境の充実**】

○年度末の職場内アンケート・保護者アンケートにおける次の項目について、最も肯定的な回答の割合を80%以上にする。

①仕事の効率化が進み、働き方改革がなされていますか。

②様々な研修を通して、自身の資質向上に努めることができましたか。

③幼稚園は様々な方法（でんぼうっこやホームページ等）で教育内容を知らせていると思いますか。

各項目における最も肯定的な回答の割合は①90%、②90%、③93%となり、目標の80%以上を大幅に超え、目標を達成することができた。①と②の職場内アンケートでは、「コドモン」の導入により、より仕事の効率化が図られたことや、それぞれの教職員が園務分掌の中での担当内容をそれぞれ専門的に学び園内、で伝達研修を行ってきたことが、園全体の教職員の資質向上につながった結果だと考えられる。③においては、リアルタイムである「ホームページ」、クラスの教育内容・子どもの姿に特化した「クラスだより」、園の方針や教職員の取り組みについての思いが感じられる「園長室だより」と、様々な方法で様々な角度から保護者発信を行ってきたことが、園の教育内容の理解と高評価につながったと思われる。

3 今後の学校園の運営についての意見

日々、保護者と対面できる幼稚園の利点を生かし、教職員が様々な取り組みと発信を行ってきたことが、全てのアンケート結果の高評価につながっていると思われる。アンケートの回収率が100%であることも、保護者が幼稚園教育に関心が高く、大変理解を得ている結果だと考えられる。

生活習慣については、幼児の実態、保護者のニーズを把握し、今後「目の健康」や「食べ方の食育」なども取り入れて行ってほしい。防災、防犯訓練に関しては、専門機関との連携を続け、今の職員体制の中で出来得ることを模索しながら、安全教育の推進に努めていかれたい。働き方改革においては、今後アンケートによっては電子化を図るなど、職務軽減につながるよう取り組みを進めていかれたい。以上、今回の協議会で出た意見を来年度の運営に反映していき、地域の様々な機関や保護者、PTAの役員などの協力を得て、さらなる教育内容の充実を図って行ってほしい。